



ホトトギス

[杜鵑草・杜鵑]

5本の樹

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



科名 ユリ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

8月頃から、山地の湿った場所で咲く季節感のある多年草。和名は花の紫色の斑点模様がホトトギスの胸部に似ていることに由来。ホトトギスは太平洋側に、ヤマジホトトギスは山地に、キバナホトトギスは九州に自生する。自然交配種や園芸品種も多く、白、紫、黄花がある。



ホトトギス花



シロホトトギス



キバナホトトギス



ヤマジホトトギス

Memo

花には見事な造形美がある。6本の雄しべの先に葯があり、昆虫が蜜を吸いに訪れると花粉がつく。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期								■				
🍒	果実										■		
🌿	紅葉												
🌱	施肥		■ (緩効性肥料を少々)										
✂️	剪定	■											■

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強		○	○	弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

庭の片隅に群生させると、風情ある添景になる。低木や植え込みに数株添わせても季節感を演出できる。強い直射や西日が当たると葉焼けを起こしやすく、乾燥を嫌うので半日陰地が適している。

剪定

草姿が乱れたら、目立たないように支柱を添わせると上手くまとまる。寒さに強いが乾燥を嫌うので、地表を敷わらなどで覆うとよい。晩秋に葉が黄色になったら、地上部を切除すると美観を保てる。

病虫害

「白絹病」にかかると、下葉が黄色に変色し茎や葉が萎れ、根際の茎に、白い絹状のカビが発生する。発生した株は早めに処分する。また、春先にナメクジの被害を受けることがある。

呼べる蝶  [ルリタテハ](#)